つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島 2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

「茅の輪くぐり」まいられぇ岡山フォトコンテスト佳作（岡山市南区東畦　福島一郎氏撮影）

※掲載の写真パネルを撮影者の福島氏から提供を受けましたので、ご本人に贈呈致します。神社までお申し出下さい。

祖先を敬い子孫を愛す事が歴史を作る

世界一の福祉国家スウェーデンの首都、ストックホルム郊外の緑と花に囲まれた老人ホームには、何不足のない老人たちが暮らしている。一見楽しそうに思えるけれど、実は自殺者の相次ぐ世界一の老人自殺国である。

日本の政府も与野党通じて口を開けば、一にも福祉、二にも福祉、まるで福祉の競り市にも等しいが、その福祉国家日本は今やスウェーデンに次ぐ、世界第二位の老人自殺国になろうとしている。

それは一体なぜだろう。老人年金が支給され、医療費は補助され、敬老の日が定められて、何不足もない筈の老人が自殺しなければならぬとは…。

それには訳がある。戦後の憲法、民法には夫婦の横の関係だけは大切に認められているが、親子、祖先、子孫等の縦の関係を壊してしまった。それで家族はバラバラになり、親子は断絶し、祖先を敬うとか、子孫を愛する等の尊い道徳心が失われたからである。

「祖先を敬し、子孫を愛す」と云う事は、行いも正しく為し得て、楽しみも、喜びも心の支えとなって、今後の生き甲斐を覚えるのだ。

それが取りも直さず、祖先を敬する所以でもある。何千年も過去の遠い遠い祖先の歴史幾千年もの未来の子孫に永く永く伝える事が歴史である。歴史はただ、興亡変遷を知るだけでは何の役にも立たない。祖先の血を子孫へ永久に伝える事が歴史が尊いとする所以である。歴史のある家は尊く、歴史のある国家は有り難い。

（鶴崎神社禰宜　太田正和　94歳）

本殿の説明看板設置　町教育委員会

町指定重要文化財

建造物　鶴﨑神社本殿

（令和２年３月 13 日指定）

当社本殿の創建年代は不明であり、天文４年（1535）の修理記録に見えるのが最古である。現在の本殿は、享保４年（1719）９月に再建されたものであり、明治 27 年（1894）に拝殿等の改築に伴い後方に移設し、さらに平成 19 年（2007）の拝殿改築に伴いさらに後方に移設した。

本殿は塩飽大工の作であり、建築様式は木造平屋建て、入母屋造、銅板葺で比較的規模も大きく、屋根・軸部・脚部の均整が取れている。屋根は正面向拝上部に縋破風（すがるはふ）を付けるのみで古来の構成を保っている。軒も装飾（彫物）が少ない江戸中期以前の古い様式をよく残している。

斗栱（ときょう）では軒回りに唐草を、縁の支えに天竺様（てんじくよう）を取り入れ、実直な中に華やかさを加える抑制のきいた折衷には好感が持てる。

享保４年（1719）再建という年代に合致した神社建築本来の意匠を保つ時代の優れた基本構想と意匠を持つ神社建築である。

早島町教育委員会

令和２年３月、当社本殿が早島町指定重要文化財に指定され、この度令和４年１月に教育委員会により本殿前石垣下に説明看板が設置された。

説明文は左記の通り。

教育委員会が設置した説明看板

揮毫と楽曲を奉納

三月二日、輝魂セラピー（代表光井美穂・勝田郡勝央町）が世界平和と新型コロナウイルス退散を願い、神前にて書道家（松本重幸氏・大分市城南北町）による奉納揮毫を岡山楽所五名による雅楽の演奏に合わせて奉納。

その後、縄文米を栽培する音楽家（和気優・臼杵市臼杵）の楽曲奉納があった。

和気氏による楽曲奉納

松本氏による奉納揮毫

神道Q&A

〈八幡神社とは〉

【質問】

八幡神社とはどのような神社なのか？また、どんな神様を祀っているのでしょうか？

【答え】

八幡神社には、八幡宮や八幡社と称される神社も多く、さらに地名等を冠した呼称の神社も見られます。八幡神社は全国に約八千八百社あり、分布もほぼ全国的に見ることができます。

八幡神社の起源は、大分県宇佐市に鎮座する宇佐神宮（宇佐八幡宮）を始めとします。御祭神は応神天皇（誉田別尊）・神功皇后・比売神の三神で、欽明天皇の御代（五四〇～五七一）豊前国宇佐郡の御許山に初めて現れ、大神比義によって祀られるようになりました。これが宇佐神宮の創祀とされています。

奈良時代、八幡神は聖武天皇の詔によって進められた東大寺の大仏建立を助けるため上洛し、東大寺の守護神として鎮座（現・手向山神社）、次第に仏教との習合を深めていったため、仏法守護の神として崇められ、「八幡大菩薩」の称号が奉られました。また、同時代末には和気清麻呂が宇佐八幡宮の託宣を受けて皇位を狙う僧道鏡の野望を阻止したことにより、皇位守護の神としての性格も強めました。

平安時代には平安京の守護神として勧請され、都の裏鬼門（南西）の方角の男山に祀られたのが、現在の石清水八幡宮です。鎮護国家の神として朝廷の篤い崇敬を受けました。この石清水八幡宮の社前で、元服の式を挙げたのが八幡太郎として名高い源義家です。義家は源氏の棟梁として八幡神を自らの氏神、また武門の守護神として仰ぎました。

その由縁もあり、源頼朝が鎌倉幕府を開くと、鶴岡八幡宮を現在の地に勧請し、幕府の守護神として祀りました。このほか、祭神の縁故の地や宇佐神宮・石清水八幡宮・鶴岡八幡宮の神領への分祀、また源氏、殊に頼義や義家といった武将の勧請などにより各地に祀られるようになりました。

当社の八幡神社は鶴崎神社の本殿と並んで建立されており、石清水八幡宮からの勧請で元中元年（一三八四）の創建と伝えられています。

祭神は神功皇后と、その御子である品陀和気命（応神天皇）をお祀りしています。

八幡神社本殿

イ草のジャンボ干支展示

正月の風物詩として毎年恒例となっているイ草のジャンボ干支を年末から節分まで境内に展示した。

今年は馬から数えて第九回目を迎える「とら」の干支に回って来たが、構想に時間が掛かり、途中の失敗もあり、約一ヶ月の製作時間を費やした。

材料は氏子から奉納されたイ草を使用し、虎の特徴である縞模様を色分けしたり、竹を配置することにより、現実感を深めた。

年末には新聞、テレビの報道もされ内外から、一目見ようと多くの参拝者が訪れ好評を得た。

正月の参拝者を迎えたイ草の「とら」

絵馬の製作と絵馬掛け設置

社紋の鶴をかたどった大願成就の絵馬を製作し、新年から授与しています。

奉納も行えるように、境内に絵馬掛けも設置致しました。

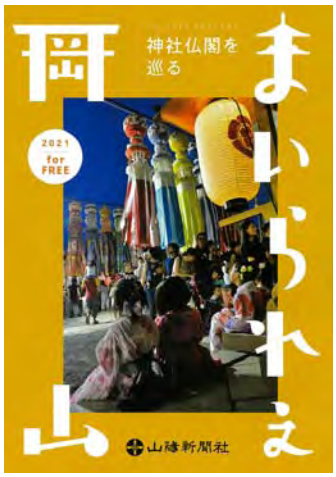
まいられぇ岡山　神社仏閣を巡る

岡山の由緒ある社寺を巡拝して、歴史を学び、岡山の信仰を再認識するべく、28の神社と34の寺院が参加して「まいられぇ岡山」が開始されています。

ガイドブックには、各社寺の縁起や見どころなど、幅広く紹介されています。

フォトコンテスト（8月19日〆切）
スタンプラリー（9月30日〆切）
巡礼クイズ（9月30日〆切）

応募用紙を兼ねたガイドブックは拝殿内に置いてありますので、ご自由にお持ち帰り下さい。



神社誌を寄贈

国立国会図書館から平成二十二年に当社が発行した神社誌の寄贈依頼があり、送付に応じました。

神社公式インスタグラムは下記QRコードからアクセスできます。

恒例のお祭りやお知らせ等を始め毎日の神社の様子を写真と共に短い文章で紹介しています。

フォロワーになっていただくと、新着情報が配信されます。

TURUSAKI0097

祭事暦

五月十四日（土）［午後七時］
八幡神社春季大祭
（露店あり）

五月十五日（日）［午前十時］
鶴崎神社春季大祭
【供膳祭】

七月三十日（土）［午後五時］
夏越祭【輪くぐり祭】
（露店あり）

毎月一日（午前九時）月次祭

諸祈祷・出張祭の案内

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・病気平癒・その他
◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・結婚式・神葬祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祈祷／出張祭は
予約
をお願いします。
482-0097